
非常識でも常識

リュウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

iJのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

非常識でも常識

【著者名】

リュウ
N3026P

【あらすじ】

だれか・・・iJいつもを雇ってください

俺はもう金がないんです

俺の家

俺は言わざとしてた有名人。

世界中で俺の名前を知らない人なんていない

お金だってたくさん持つている

豪邸に住んでいて、その豪邸にはたくさんのメイド達がいる

そう、俺は誰もがうらやむ世界一有名で世界一お金持ちなのだ

・・・・なんていうのは嘘

俺はただのじがないフリーター、お金もなければ有名人でもないただの一般人。豪邸なんても嘘、実際は2LDKのマンション暮らし、両親も俺が中学のときに不幸な事故で他界、高校卒業して一年になるがこの不景気で正社員にもなれずフリーター、バイトをしてなんとか生活をしている。

ただひとつだけ嘘じやないのがある。それは俺の家にはメイドがいるということだ

ただのフリーターが2LDKのマンションなんて豪華すぎやしないか?とか思わなかつたか?俺だったら1Kで十分だ、だが俺には

なぜがメイドがいる。さう……なぜか……

「あの……『主人様』

「なんだ?」

時間は午前10時30分、深夜のバイトをやつて居る俺は口の中は家にいる。これからメシでも食べて寝ようかと考えていたといふ、噂のメイドに声をかけられた

「私たちはこれから何をすればよろしいのでしょうか?」

私たちといふともちろん一人ではない、五人いる。このせまい家に五人のメイド+フリーター・・・どういう家なんだか・・・

「じゃあもう休んでいいよ」

さすがに五人もいると家事全般は午前中で終わる、そうするとやることがなくなりこうやってバイト終わりの俺になにかやることがないかと聞いてくる

「わかりました」

そういうとメイド五人はおのの休みだした、あるメイドは読書始め、あるメイドはファッショング雑誌を眺めたり、あるメイドはゲームを始めたりと自由に過ごして居る

(でも・・・なんで俺の部屋で?)

ちゃんとメイドたちの部屋もあるし(一部屋だけ)リビングだつ

てある、なのこいつらなぜか俺の部屋でしか休憩をしない

「よしう前、ひつひつ確認したい」

夜のバイトをして俺は物凄い眠い、だがそんなことよりも俺は確認したいことがある

「その本やゲームはまだいついた？」

「もちろん」主人様の稼いでたお金を・・・

俺はこの一言で激怒した。ただでさえ赤字なのにこいつらの娯楽までお金をまわさないといけないのか。さいわい明日は休みだし寝るのはあとにしてこいつらに説教だ。

そしてはやく俺の家から出て行つてもいい。

「最初は普通のひとつべひつだつたのになあ・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3026p/>

非常識でも常識

2010年12月5日01時55分発行